

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

【多剤耐性菌】

1) 多剤耐性菌について、①～⑥の () に合う記号を選んで下さい

- ・ 多剤耐性ではない状態であれば、(①) として持っている場合もある
- ・ 感染力は多剤耐性菌でない菌と (②)
- ・ 多くの (③) が効かず、使用できる薬が (④) される
- ・ 他の細菌感染症に比べて治療が難しく、(⑤) のみとなる場合もある
- ・ 他の細菌感染症に比べて、死亡率が (⑥)

ア) 常在菌 イ) 悪玉菌 ウ) 同じ エ) 異なる オ) 抗生物質
カ) 消毒薬 キ) 拡大 ク) 限定 ケ) 理学療法 コ) 対症療法
ケ) 低い コ) 高い

2) 代表的な2つの多剤耐性菌について、それぞれの簡単に説明してみましょう

<MSRA>

→ _____

<MDRP>

→ _____

3) 多剤耐性菌による感染症発生時にすべきことを、できるだけたくさん挙げましょう

()

確認テスト 解答・解説

1) 解答 ①ア ②ウ ③オ ④カ ⑤ク

<解説> 多剤耐性菌は、もともとはどこにでもいる毒性の弱い菌が薬剤耐性を持ったものです。多くの抗生物質が効かないため、治療が難しく、対処療法のみになる場合もあります。

また、多剤耐性菌の感染力は他の細菌と同じですが、発症時の死亡率はそれよりも高くなります。特に、抵抗力の弱い高齢者は重症化する可能性が高いため、注意が必要です。

2) 解答 <MRSA>

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
- ・黄色ブドウ球菌が多くの抗生物質に耐性を持った状態
- ・日本で最も多い多剤耐性菌

<MDRP>

- ・多剤耐性緑膿菌
- ・緑膿菌が多くの抗生物質に体制を持った状態

<解説> MRSAは、腸炎、肺炎、敗血症などを引き起こします。症状としては、高熱や血圧低下、下痢、意識障害、腎機能障害、肝機能障害などが見られます。MDRPは、尿路や褥瘡の傷などかの感染が多く、呼吸器症状や消化器症状などを引き起こします。

3) 解答 例) 個室管理を行う

介助時には手袋をつける

手指衛生を徹底する

個人専用の物品を使用する

汚染物の処理時にはガウンを使用する …など

<解説> 多剤耐性菌による感染症は、接触感染によって広がります。手指を介して感染する頻度が高いため、職員だけでなく入居者の手洗い、消毒を徹底するようにしましょう。

また、感謝者は原則として個室管理とし、介助時には手袋やガウンを着用するようにします。使用物品についても可能な限り個人専用のものとし、居室の環境整備にも努めましょう。